

令和6年度 第2回 市民公益活動サポートセンター運営協議会 会議録（要録）

日時：令和7年2月20日（木）午後1時30分～15時00分

会場：中央公民館 2階 研修室2

出席委員：山岡委員長、牧野副委員長、山口委員、山城委員、斉藤委員、
平川委員、藤崎委員、竹川委員、古賀委員（欠席：立崎委員）

事務局職員：鴨志田所長（自治人権推進課長）、榎副主幹、檜垣主査補、齋藤
傍 聴 人：0人

1. 開 会

13時30分 開会。

2. 所長あいさつ

所長あいさつの後、事務局の自己紹介を行った。

3. 議 題

①会議録の作成方法について

【委員長】

「①会議録の作成方法について」、事務局の説明を求める。

（事務局から、資料1に沿って説明。）

【委員長】

ただいまの説明について、質疑・ご意見を求める。

（質疑・意見なし）

【委員長】

会議録の作成方法について、事務局からの説明のとおり取り扱うことについて、賛成の方の挙手を求める。

（全員挙手）

【委員長】

挙手、全員であったため、会議録については事務局からの説明のとおり取り扱うことと決した。

【議題】②令和6年度事業報告について

【委員長】

「②令和6年度事業報告について」、事務局に説明を求める。

(事務局から、資料2に沿って説明)

【委員長】

ただいまの説明について、質疑・ご意見を求める。

【A 委員】

「チラシ配布取次事業」でポスターを取次していただき効果があったので、「チラシ・ポスター配布取次事業」という事業名としたほうがよいのでは。また、何ヵ所の施設に配付し、何部必要であるのかについて（サポセンだより等に）書いたほうがよいのでは。

→【事務局】

チラシを配布できる施設や部数についてはサポートセンター内で掲示を行っているが、（サポセンだより等に記載し）さらに周知を行う。

【B 委員】

「市民活動デビュー講座」について。市内4つの高校に呼び掛けたとのことだが、高校生の参加者はいたのか。

→【事務局】

高校生にチラシの配布を行ったが、残念ながら高校生の参加はなかった。来年度の計画でも同様の事業を行う予定であるため、高校生に参加してもらえるような企画を行っていきたい。

【C 委員】

今回初めて志津コミュニティセンター（以下、「志津コミセン」）で「市民活動発表会」を開催し、約850名の参加であったとのことだが、従来（の参加者数）と比べて多かったのか。

また、アンケート調査を行ったとのことだが、開催場所についての結果はいかがだったか。

→【事務局】

昨年度、中央公民館で開催した際は、32団体、451名の参加。コロナ禍前の令和元年に開催した際は、49団体、1,150名の参加であった。

アンケートの結果、「志津コミセンがよい」と答えた方が47.2%、「中央公民館がよい」と答えた方が9.5%、「志津コミセンと中央公民館交互に行うのがよい」と答えた方が2割ほどであった。

【委員長】

初めて志津コミセンで開催したのか。

→ **【事務局】**

初めてである。これまで志津地区で実施したことはなかった。

【A 委員】

発表会について、前半のステージ発表の音量が大きかったため改善していただきたい。ステージ発表と同じ空間で良い団体と、別の空間がよい団体で（ブースの場所を）区別したほうが良いのでは。

→ **【事務局】**

他の団体の皆様やアンケートでも、音に関してのご意見をいただいている。ステージ発表とブース発表を完全に別にした場合、来場者がステージ発表に偏ってしまうことが懸念される。人の動線や会場の都合もあり、完全に分けることは難しいが、来年度に向けて改善を検討していく。例えば、参加募集の際、ブース展示の団体に、「ステージ発表と同じフロアでも良い」「ブース展示だけのフロアが良い」のどちらかを選んでいただく、等。

【D 委員】

事務局としては、志津コミセンと中央公民館ではどちらが実施しやすいのか。

→ **【事務局】**

アンケートでは「志津コミセンは明るい雰囲気良かった」といった好意的なご意見をいただいた。

一方で、雨の場合の駐車場確保の問題や、市民公益活動サポートセンターから志津コミセンまで（中央公民館と比べて距離があり、移動に）時間がかかるというマイナス面もある。

改善点が見えてきたので、次回も志津コミセンで開催し反省点を活かしていきたいと思っている。2年毎に志津地区と佐倉地区の両方で行いたいと思っている。

→ **【D 委員】**

以前、中央公民館で全館を借りることができなくなったという話があったが、中央公民館関係者は把握していないようであった。

→ **【事務局】**

中央公民館を普段利用されている団体の活動が第一であるため、半年以上前からの全館予約はできないと回答があったものと認識している。

全館を事前に予約できない場合は、（市民活動発表会は）半年以上前から準備を進める必要があるため、全館を使用した開催はできない。

昨年度は（全館借りられなかったが）「市民活動発表会」を開催することができたので、中央公民館での開催は可能であると思っている。

→【D 委員】

市民活動発表会に限ったことではないが、6か月前からの全館の予約ができないと、大きいイベントができなくなってしまう恐れがあるのでは。そのあたりの仕組みを考えていただいたほうがよいのでは。

→【事務局】

中央公民館に限らず施設側と相談しながら開催していきたいと思う。

【委員長】

飲食に関して、志津コミセンと中央公民館で取扱いが違うのか。

→【事務局】

どちらも飲食可能である。前回（令和5年度）に中央公民館で実施した際に飲食コーナーがなかったのは、飲食が禁止されていたわけではなく、コロナ禍であることや、保健所の制限が厳しいといったことから、募集を行わなかったためである。

しかし、前回の発表会開催後、「飲食スペースが欲しい」とのご意見を複数いただいたため、今回（令和6年度）は飲食の募集を行った。4団体の応募があり、飲食スペースを設けることができた。

→【E 委員】

「飲食は禁止になった」と思った団体もあったのでは。

→【事務局】

今回は、さらに案内方法をわかりやすくし、より多くの団体に参加していただけるようにしていきたい。

飲食コーナーの規模を大きくすると、来場者は増えるかもしれないが、それだけを目的として来場する人も出てきてしまうという懸念があり、以前から課題と考えてた。この事業の目的は「市民活動の周知・交流」である。一方で、発表・展示だけでは、人が集まらない可能性もあり、難しいところ。

→【E 委員】

コロナ前に実施していた「ボランティア・市民活動フェスタ」では、飲食のスペースが大きかったが、会場（中央公民館）の周囲に飲食店がなく、来場者、参加者の食事のために始めたもの。飲食コーナーがメインだったわけではなく、団体活動の体験ブース等も充実していた。

→【事務局】

今回、飲食出店していただいた4団体には、展示ブースに普段の活動を紹介するパネル等を出していただき、（飲食の提供だけにとどまらずに）団体の活動が伝わるようにしていただいた。

今後も、皆様と相談しながら、「市民活動の周知・交流」という目的を達成しつつ、たくさんの方に来場していただけるイベントになるよう検討していきたい。

→【委員長】

今後も飲食コーナーを続けてほしい。

→【事務局】

次回も飲食コーナーを継続していきたい。

【A 委員】

志津コミセンで2年連続開催して構わないが、その次は中央公民館で実施してほしい。地域での公平感があるようにしていただきたい。

【F 委員】

以前は（中央公民館の一室を使い）、衣装の展示や活動の様子紹介し、会員募集を行っていたが、（部屋が使えなくなり）できなくなってしまった。新しい方が入ってこないと会員が減ってしまう。

【B 委員】

市民活動発表会を実施し、新しい方や若い方が団体に入ってくるきっかけになると良いと思う。コロナもあったが、サポートセンターに登録している団体の推移はいかがか。

→【事務局】

コロナ禍は団体数が減っており、最高 200 団体ほど登録があったが、令和 5 年度末時点では、155 団体となった。今年度は登録団体が増え、現在 162 団体である。少し回復傾向にあるが、最も登録数が多かった時と比較すると団体数がかなり減ってしまっている状況である。

活動発表会の目的は団体の活動を知っていただくことであり、それがきっかけで新しい会員が増えてほしいと思う。開催後のアンケートでは「関心を持った」という回答が多かった。また、いくつかの団体から「団体に入りたい」という方がいたというお話を聞いている。このような件数が増えると良いと思う。

【議題】③令和7年度事業計画について

【委員長】

「③令和7年度事業計画について」、事務局に説明を求める。

(事務局から、資料3に沿って説明)

【委員長】

ただいまの説明について、質疑・ご意見を求める。

【B委員】

先日(ボランティアセンターが実施する)ボランティアの説明会に参加した。ボランティアセンターで高校生を対象とする事業を開催した際に、(案内のチラシに)QRコードを付けたところ、申し込みが多くなったとのことだった。

(ボランティアセンターが行う事業と、サポートセンターのボランティア入門講座が)同じ日にちにならないように調整したり、同時開催を行うこと等を検討いただきたい。

→ **【事務局】**

承知した。ボランティアセンターと協力しながら実施していきたい。

【F委員】

ポスター展の効果はどのくらいあるのか。見た方が入会してくれる場合もあるのか。効果がないと実施しても意味がないのでは。

→ **【事務局】**

団体に入会した方がいるかどうかについては把握できていないが、市民公益活動を知っていただく第一歩として、今後も継続していきたい。

→ **【G委員】**

ポスター展の効果の検証についても力を入れていただければと思う。

→ **【委員長】**

市民活動発表会等で、ポスター展を見た方がどのような印象を持ったのかというアンケートを実施していただけるとよい。

→ **【H委員】**

志津公民館で現在実施されているポスター展を見た。2階フロアの約半分という広い範囲で実施されている。志津駅と近いため、かなりの人数の方が眺めていた。今まで興味のない方も目にすることで、印象に残ると思う。

来年度の計画で、夢咲くら館が新たに追加されているが、弥富や志津での開催がなくなっている。何か理由があるのか。

→ 【事務局】

令和 6 年度に佐倉地区での開催がなかったため、令和 7 年度に夢咲くら館で開催することとした。志津地区については、イオンタウンユーカリが丘で開催予定。年度ごとに開催地区を変更しており、次年度以降も、志津公民館を含め、開催場所を検討したい。

→ 【E 委員】

ポスターだけでは中々伝わらない。ポスター展と併せて活動を体験できる場所があると良いのでは。

【B 委員】

市民公益活動団体紹介冊子について、手作りによくできていると思うが、文字だけではなく、写真などを入れてカラーで見やすくするといいいのではないかと思う。それを高校や新規の方を取り入れられる場所に配架するのも効果的では。

→ 【G 委員】

知らない人に情報を届けるのはとても難しいと思う。情報過多な社会なので、直接届ける方法（チラシの手渡し等）を行わないと新規会員の増加には繋がっていかないのでは。

→ 【事務局】

団体紹介冊子については、個人情報が多く掲載されているため慎重に検討していきたい。

→ 【B 委員】

最近では、団体の HP や SNS 等で情報を発信している団体も多いので、QR コードを掲載するといいいのでは。また、電話番号を載せたくない団体がいた場合には、サポートセンターを連絡先として掲載していただくと良いのではないかと思う。

→ 【E 委員】

冊子をもっと薄くしてはどうか。今の時代冊子を見る人も少ないのでは。

→ 【A 委員】

ポスター展や紙ベースでの情報も効果があると思う。2021 年にカラーの紹介冊子（市民協働情報誌「まちづくりしよ！」）に掲載され、新たな入会者がいた。

ポスター展では、団体の方が現場で説明をする機会があればさらに効果があるのでは。説明する方がいると、新しく参加しようと思っっている方の不安も減る。

カラーは効果がある。しかしカラーコピーの金額が高いので、サポセンのカラーコピー料金を安くしていただきたい。

→【事務局】

来年度は、ポスター展を初めて夢咲くら館で開催する。事業の効果を高めるため、簡単ではないが、工夫してやっていきたい。

【D 委員】

「ボランティア入門講座」に参加した方が、その後ボランティア活動を行っているかについて追跡調査を実施していただくと良いのでは。

→【事務局】

毎回事業後にアンケートを実施し、「モチベーションのアップにつながった」といった回答をいただいている。その後ボランティアに参加したかという追跡調査は行えていない。今後、行っていきたい。

→【D 委員】

1、2年後の効果というところも主催者側として把握してほしいと思う。

【事務局】

令和7年度の「市民活動発表会」の会場については志津コミセンとし、再来年は中央公民館で開催することとしてよろしいか。

→（反対意見なし）

【議題】④その他

【委員長】

「【議題】④その他」ということで、本日の議題に限らず、市民公益活動に関することで、ご意見やご質問等があれば、自由にご発言いただきたい。

【委員長】

今年度は佐倉市が（市制施行）70周年であったため、市内高校等との連携事業を行っていたが、今後も続けて連携していくのか。

→【事務局】

連携協定は今後も続いていく予定。

→【委員長】

連携協定を活用して、高校生にボランティア等の事業に参加してもらおうとよいのでは。

【B 委員】

高校生に「各団体の活動に参加できるか」とアンケートしてはどうか。

→【事務局】

高校生の中には、ボランティア活動したくてもどこに行けばよいかわからない、という生徒もいると思う。講座（市民活動デビュー講座）を行う際は、活動団体とのマッチングについても検討していきたい。

→【E 委員】

高校生に対して「ボランティア活動証明書」を各団体が発行できると、ボランティア参加者が増えると思う。（サポートセンターで）「ボランティア証明書」のひな形を作成すると良いのでは。（自分の団体に対して、）夏休み期間等は「ボランティア証明書がもらえるか」といった問い合わせも多かった。

→【事務局】

ボランティア証明書については今後も検討する。

【B 委員】

サポートセンター登録団体が対象となる、市民公益活動補償制度は活動に参加した高校生も対象か。

→【事務局】

イベントの単なる参加者や見学者については対象とならないが、ボランティアを行う活動者として参加している場合は対象となる。

→【委員長】

保険については知らない人も多いと思うのでさらに周知を行ってほしい。

→【事務局】

「サポセンだより」等での周知を検討する。

→【F 委員】

補償の対象となるためには事前の登録が必要か。名簿の提出は必要か。

→【事務局】

サポートセンターの登録団体であれば、保険加入の手続き等は不要。事故が起きた際に、事故報告書等とともに参加者名簿を提出いただく必要がある。活動を行う際は、名簿を作成できるように参加者の把握をしていただきたい。

【C 委員】

サポートセンターは 19 時まで営業しているようだが、17 時以降の利用者はいるのか。その間は職員が残っているのか。すべての設備（印刷機・紙折り機等）を使えるのか。

→【事務局】

特に冬季は 17 時から 19 時までの利用者は少ないが、支援員は残っている。

【委員長】

事務局からの連絡事項等は。

→ **【事務局】**

次回の会議日程について。7月に開催を予定している。今回同様、委員の予定を事前に確認して調整する。ご協力いただきたい。

【委員長】

本日の議事は終了。委員の協力に感謝。

会議の議事録の署名人については、自分の他、藤崎委員にお願いする。

進行を事務局にお返しする。

【事務局】

以上で令和6年度第2回運営協議会を終了。